Panasonic

SD マルチカメラ

取扱説明書

品番 SV-AV10

上手に使って上手に節電

保証書別添付

MultiMediaCard™

このたびは、SD マルチカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT9516

もくじ

はじめに

安全

準備

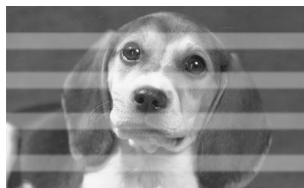
基本

より楽しく

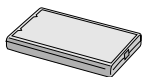
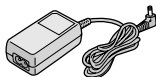
その他

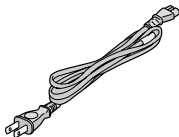
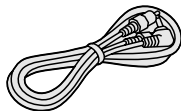
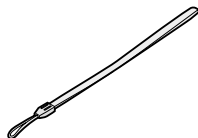
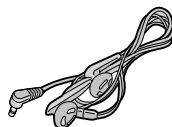
ご使用前に

蛍光灯照明下で、下図のような明暗の横しまが画面に出る場合があります。この場合、横しまを軽減させるため、エリア設定(電源周波数の 50 ヘルツ／60 ヘルツの切り換え)を行ってください。(工場出荷時は 50 ヘルツです)
電源周波数はご使用の地域により異なります。
設定方法は、23 ページをお読みください。

＊地図は目安です。

付属品

• 下記の部品が入っているか、ご確認ください。(品番は 2002 年 1 月現在のものです)

1 バッテリーパック
VW-VBA10

2 AC アダプター
VSK0616

3 SD メモリーカード
(8 MB)
RP-SD008B-A

4 電源コード
K2CA2DA00009

5 映像 / 音声コード
K2KC4CB00002

6 ハンドストラップ
VFC3803

7 イヤホン
LOBAB0000172

はじめに

- 大切な撮影前には、必ず事前に試し撮りを行い、正常に記録されていることを確かめてください。
- 本機およびカードなどの不具合で記録されなかった場合の内容の保証についてはご容赦ください。
- あなたが撮影(録画など)、録音したものは、個人として楽しむ以外には、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、お気を付けください。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です
  この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 他機で記録、作成した内容の本機での再生、本機で記録した内容の他機での再生はできない場合がありますので、あらかじめお確かめください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- Microsoft® Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Apple ロゴおよび MAC は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本書内の製品姿図・イラストは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- 本機で使用できるのはSD メモリーカード、マルチメディアカードです。
- SD (SD ロゴ)は商標です。
- 本書では参照いただくページを(P00)で示しています。
- 本書ではバッテリーパックのことをバッテリーと記載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

特長

■小型・軽量のSD マルチカメラ

簡単に撮れる静止画＆動画（MPEG4）
簡単に見れるビューワー機能

■動画も静止画も音声もカードに記録

MPEG4 動画、JPEG 静止画、VOICE 音声が記録できます。
ＳＤ モバイルプリンター/SV-P10（別売）を使うと、画像を撮って、その場でプリントできます。

■ＡＡＣ 音楽再生対応

ＳＤ オーディオ ＰＣ レコーディングキット／ SH-SSK1（別売）を使って、ＳＤメモリーカードに記録した高音質の音楽ファイルを再生できます。（本機では記録できません）

■楽しさ広がる別売アクセサリー

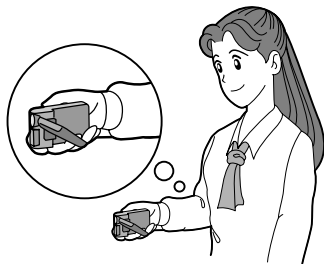
- SD モバイルプリンター/SV-P10
- SD マルチビューワソフト /VW-DTV10
  （内容物：CD-ROM「SD-MovieStage」*）
- バッテリーパック /VW-VBA10
- SDオーディオPC レコーディングキット/SH-SSK1（内容物：USB リーダーライター、CD-ROM（「SD-Jukebox」*、USB ドライバー））

* 対応OS はWindows のみです。

■ホームページアドレスへのアクセスをお待ちしております

パナソニックのホームページをご覧ください。

商品情報について
http://www.panasonic.co.jp/

サポート情報について
http://www.panasonic.co.jp/customer/

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。。

危険	この表示の欄は､｢死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される｣内容です。
警告	この表示の欄は､｢死亡または重傷などを負う可能性が想定される｣内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない｢禁止｣内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁 止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

●不要(寿命)になったバッテリーについては 48 ページをご参照ください。

バッテリーの端子部(⊕と⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁 止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

バッテリーを炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない

禁 止

液もれ・発熱・発火・破裂につながります。

⚠警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

禁　止

事故の誘発につながります。

- 歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグにふれない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

⚠警告

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや製品の故障につながります。

不安定な状態で使わない

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電につながります。

●必ず、乾いた手で持ってください。

フラッシュの発光部分を手で触らない

フラッシュの発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になります。

⚠警告

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

電源コードやプラグを破損させない

禁　止

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コードの破損の原因となり、火災・感電につながります。

●破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
●お手入れ時で、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わないまた、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁　止

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

⚠警告

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

⚠注意

コードを持って抜かない
コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

禁　止

コードや機器の破損の原因となります。

●必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

コードが張った状態で使わない

禁　止

コードにつまずいて転倒したり、機器が損傷するおそれがあります。

⚠注意

高温になるところに放置しない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。SD マルチカメラ、バッテリーなどを絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると火災・感電のおそれがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。(カード保護のため、カードも取り出しておいてください)

フラッシュ発光中に近くで発光部を直接見ない

強い光により、目をいためるおそれがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災のおそれがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

指定以外の電池を使うと、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

熱で外装ケースが変形し、内部が発熱すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響をおよぼすおそれがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重いものを置いたり、のったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

⚠注意

AC アダプターのコードを持って抜かない

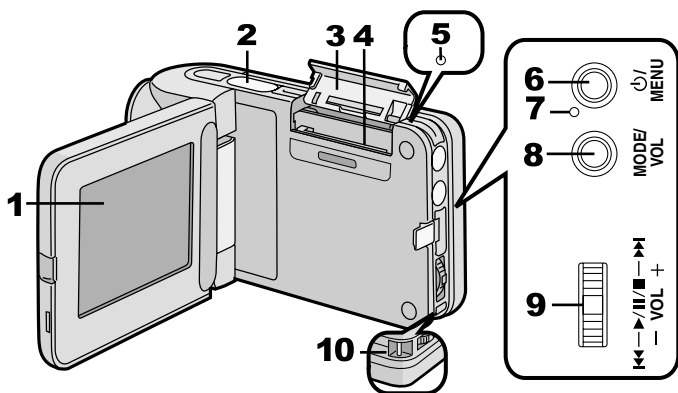
コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電のおそれがあります。

●３年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)
●費用についても、そのときお確かめください。

各部の名前と働き

詳しくは、関係するページをお読みください。

1　液晶モニター

2　記録 / 停止ボタン

- 動画の記録を開始します。もう一度押すと記録を停止します。(P24)
- 静止画を記録します。(P26)
- 音声の記録を開始します。もう一度押すと記録を停止します。(P28)

3　カード扉

カード扉を開けて、カードを入れます。(P19)

4　カード挿入口

カードを入れます。(P19)

5　動作中ランプ

カードにアクセスしているときに点灯します。(P19)

6　電源/メニューボタン[⏻ / MENU]

- 約2秒間押すと、電源が切 / 入します。(P20)
- 電源が入った状態で、1 回押すとメニュー画面が表示されます。(P22)

7　電源ランプ

電源を入れると、点灯します。(P20)

8　動作モード / ボリュームボタン [MODE/VOL]

- 動作モードを切り換えます。(P21)
- 音量を調整するときに押します。(P31)

9　ジョグレバー [⏮ー▶/❚❚/ ■ー⏭/ ーVOL ＋]

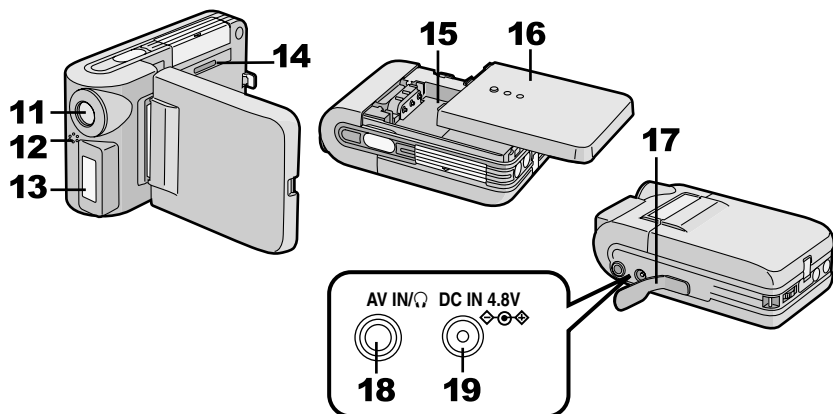
- 動作モードを選択します。(P21)
- メニューを選択します。(P22)
- 記録した映像の選択、再生操作などを行います。(P25、27)
- 音声 / 音楽ファイルの選択、再生操作などを行います。(P29、30)
- 音量を調整します。(P31)

10　ストラップ取付部

ハンドストラップを取り付けます。(P18)

安全
準備

各部の名前と働き(つづき)

詳しくは、関係するページをお読みください。

11 **レンズ**

- 指などでふれないように、お気を付けください。

12 **マイク(モノラル)**

音声・動画映像の記録時に使います。(P28)

13 **フラッシュ**

暗い場所で静止画を記録するときに使います。(P26)

14 **カード確認窓**

カードが入っているか確認できます。

15 **バッテリー取付部**

バッテリーを取り付けます。(P17)

16 **バッテリー取付部カバー**

バッテリーを取り付ける前にカバーを外し、取り付けたあとに付けます。(P17)

17 **端子カバー**

ここをめくってコードを接続します。

18 AV **入力** / **ヘッドホン端子**

[AV IN/]

- 映像 / 音声コード(付属)で外部機器(テレビなど)と接続すると、外部機器の映像を記録できます。(P37)
- イヤホン(付属)を接続して音声を聞くことができます。(P29)

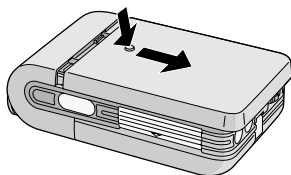
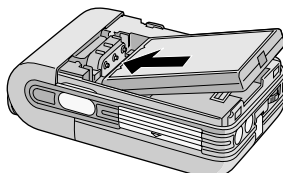
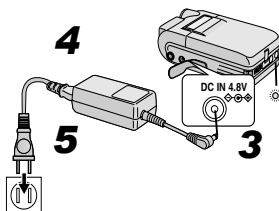
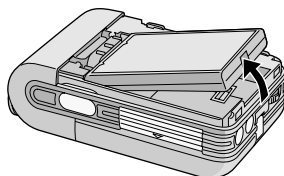
> - **テレビなど外部機器に映像を出力することはできません。**
> - **ヘッドホン端子にイヤホンや付属の映像 / 音声コード以外を接続しないでください。**

19 DC **入力端子** (**電源**)[DC IN 4.8V]

AC アダプター(付属)のDC コードを接続し、電源を供給します。

バッテリーを充電する

バッテリーを充電します。充電時は、本機の電源を切っておいてください。

バッテリーの残量表示が「　」のときは、数分でバッテリーがなくなりますので充電してください。（P46）

バッテリーを外すときは

1 [○○○] 部分を押さえながら、矢印の方向にずらして、バッテリー取付部カバーを外す

2 バッテリーをラベル側を上にして、端子部を本体の端子部に押し当てて入れる

- 取り付けたあとはカバーを付けます。

3 AC アダプターのDC プラグをDC 入力端子 [DC IN 4.8V] につなぐ

4 電源コードを AC アダプターの AC 電源端子につなぐ

5 AC アダプターの電源プラグを電源コンセントにしっかりと差し込む

- 電源ランプが点滅し、充電が始まります。
- 充電時に、電源ランプが早く点滅（もしくはゆっくり点滅）する場合、正常に充電できていません。（点滅によって本機の状態をお知らせします）（P50）

6 電源ランプが消灯するまで、そのままにしておく

- 電源ランプが消灯したら、充電完了です。

■バッテリーを外すときは

図のように上方向に持ち上げて外す

付属のバッテリー1本あたりの時間/枚数

充電時間	連続記録時間(MPEG4)	連続記録枚数(静止画)	連続記録時間(VOICE)	連続再生時間(MUSIC)
約120分	約60分	約1200枚	約90分	約90分

■充電時間・記録可能時間のめやす

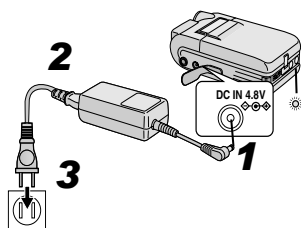
- フラッシュなど使用状況により、記録枚数、記録時間などは変わります。
- 左表は温度 20 ℃ / 湿度 60% 時の数値です。高温時・低温時は充電時間は長くなります。また、記録・再生時間は短くなります。

次ページにつづく

📖 **お願い / ヒント**

- 長期間使用しないときは、バッテリーを外しておいてください。(P48)
- 充電・使用中は本体などが暖かくなりますが、故障ではありません。
- バッテリーを外すときは、落下させないようにお気を付けください。
- 本機の電源が入っているときに、バッテリーの付け外しや電源コードの抜き差しをしないでください。
- 充電中は電源コードを抜かないでください。

電源コンセントにつないで使う

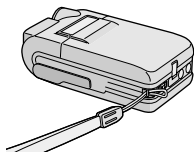
AC アダプターを使って電源コンセントにつなぐと、バッテリーを付けなくても本機を使えます。

1 AC アダプターの DC プラグを DC 入力端子 [DC IN 4.8V] につなぐ

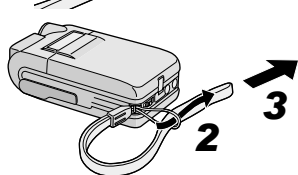
2 電源コードを AC アダプターの AC 電源端子につなぐ

3 AC アダプターの電源プラグを電源コンセントにしっかりと差し込む

- 電源を入れると、本機が使えるようになります。
- 本機の電源が入っているときに、電源コードの抜き差しをしないでください。

ハンドストラップを付ける

記録時は、ハンドストラップを手首に通して使うことをおすすめします。

1 ハンドストラップの先端をストラップ取付部に通す

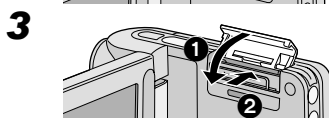
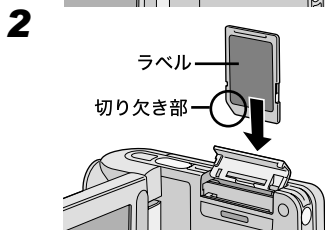
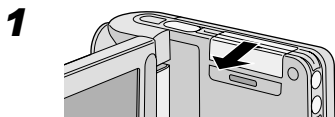
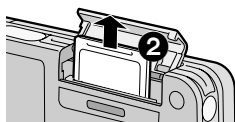
2 ハンドストラップの反対側を輪の部分に通す

3 矢印の方向に引っぱる

カードを入れる

カードを入れます。本機でお使いいただけるのは、SD メモリーカードとマルチメディアカードのみです。カードの出し入れ時は必ず電源を切ってください。

1

2

3

カードを取り出すときは

1 液晶モニターを開いて（P20）カード扉を矢印方向にスライドさせて開く

2 カードの切り欠き部を左に、ラベルを前にして、「カチッ」と音がするまで押し込む

3 カード扉を閉じる

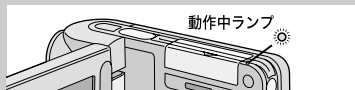
■カードを取り出すときは

カード扉を開けて、カードの上部を押し、上に少し飛び出した部分をつまんで、まっすぐ引き抜く

カードのデータ保護について
電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などにより、カードが壊れたり、データが消失することがありますので、大切なデータはパソコンにも保存しておくことをおすすめします。（P40）

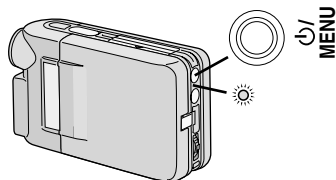
準備

お願い / ヒント

- 動作中ランプが点灯中（カードにアクセス中）は、**以下の操作（動作）を行わないでください。**カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。
  - カード扉を開ける
  - カードを抜き差しする
  - バッテリーを外したり、電源コードを抜く
  - 振動や衝撃を与える

- カード扉が完全に閉じないときは、一度カードを取り出して、向きを確認し、再度入れ直してください。
- カード裏の接続端子部にはふれないでください。

電源を入れる

電源を入れると、記録･再生など、本機の操作ができるようになります。

2

1 バッテリーを付けるか、AC アダプターをつなぐ（P17、18）

2 電源ボタンを約 2 秒間押す

- 本機の電源が入り、電源ランプが点灯します。
- 動作モード画面が表示されます。(P21)

■本機の電源を切るときは

電源ボタンを約２秒間押す

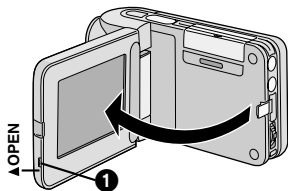
お願い / ヒント

- 10 分以上操作しないと、自動的に電源が切れます。再度電源ボタンを押してください。
- ご使用前に、[エリアセッテイ] を行って、[50 ヘルツ] または [60 ヘルツ] を選んでください。(P23)

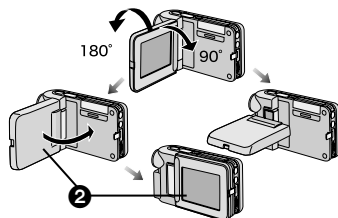
液晶モニターを使う

本機は液晶モニターを見ながら映像の記録･再生を行います。

1

2

1 突起部 ❶ に指をかけて、液晶モニターを開く

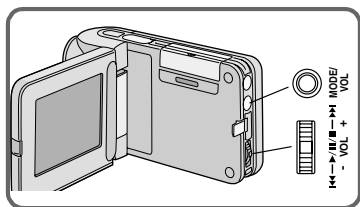
2 液晶モニターの角度を調整する

- 角度によっては画面が上下逆になります。

液晶モニターはレンズ方向に 180°、手前方向に90°まで回転します。それ以上に無理な力で回したり、90°回転した状態でレンズ方向に回すと、本機の故障につながります。

お願い / ヒント

- メニューで液晶モニターの明るさ、色の濃さが調整できます。(P41)
- [ヒョウジセッテイ] メニューの [ヒョウジハンテン] を [する] に設定すると、画面が上下逆になります。(P22)

動作モードを選ぶ

モード選択画面から動作モードを選びます。

1 動作モードボタン[MODE]を押す

- モード選択画面が表示されます。
- 電源を入れたときにもモード選択画面が表示されます。

2 動作モードボタン[MODE]を押して、[記録]または[再生]を選ぶ

- 押すごとに、[記録]と[再生]が切り換わります。

3 ジョグレバーを上下に押して、任意のモードを選ぶ

4 ジョグレバーの中央を押す

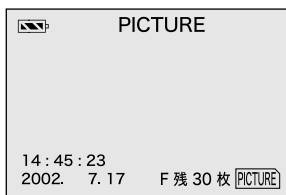
- モード選択画面が消え、選んだモードになります。

1,2

3

4

PICTURE

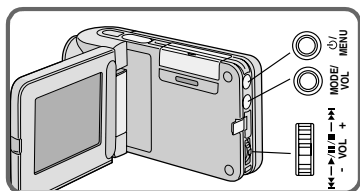
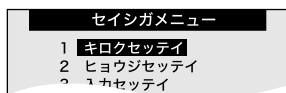
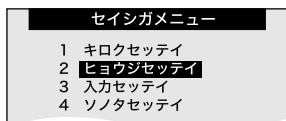
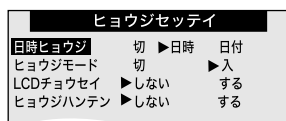
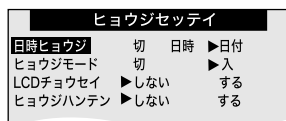
14 : 45 : 23
2002. 7. 17 F 残 30 枚 PICTURE

静止画記録モードの例
(日時設定後)

■動作モードについて

本機には以下の7つのモードがあります。

1. **動画記録モード[記録→動画]:**
   MPEG4 形式で映像を記録します。
2. **動画再生モード[再生→動画]:**
   MPEG4 形式で記録した映像を再生します。
3. **静止画記録モード[記録→静止画]:**
   静止画(JPEG 形式)で画像を記録します。
4. **静止画再生モード[再生→静止画]:**
   静止画を再生します。
5. **音声記録モード[記録→ボイス]:**
   音声(VOICE 音声)を記録します。
6. **音声再生モード[再生→ボイス]:**
   記録した音声(VOICE)を再生します。
7. **音楽再生モード[再生→音楽]:**
   SD-Jukebox(別売)などで記録した音楽データを再生します。

メニュー画面を操作する

本機の機能の多くは、メニュー画面から設定します。

2

3

4

5

6

1 動作モードを選択する (P21)

2 メニューボタン [MENU] を押す

- 選択したモードのメニュー一覧が表示されます。

3 ジョグレバーを上下に押して、任意のメニューを選ぶ

4 ジョグレバーの中央を押す

- メニュー設定画面が表示されます。

5 ジョグレバーを上下に押して設定したい項目を選び、中央を（何度か）押して設定する

- 押すごとに、▶ が移動します。

6 メニューボタン [MENU] を押す

- 前の画面に戻ります。

■途中で設定をやめるには

メニューボタン [MENU] を押す

お願い / ヒント

- メニュー画面の各項目の詳細については、44 ページの「メニュー画面の表示」をお読みください。
- 記録･再生中は、メニュー画面は表示されません。
- ご使用前に、[エリアセッテイ] を行って、[50 ヘルツ] または [60 ヘルツ] を選んでください。(P23)
- 動画 / 静止画 / 音声再生時にメニューボタン [MENU] を押すと、再生しているファイルの編集ができます。

エリア設定を行う

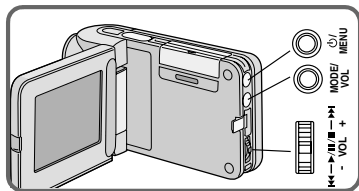
本機のご使用前に、エリア設定を行う必要があります。
蛍光灯照明下で出る、明暗の横しまが軽減されます。(P3)

1

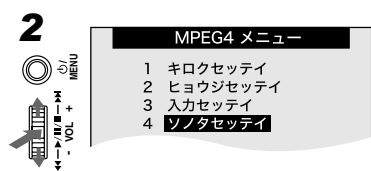
2

3

4

MENU

1 動作モードボタン[MODE]を押して[記録]を選び、ジョグレバーを上下に押して、[動画]または[静止画]に設定する(P21)

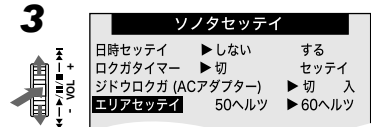
- ジョグレバーの中央を押すと、動作モード画面が消えます。

2 メニューボタンを押したあと、ジョグレバーを上下に押して、[ソノタセッテイ]メニューを選び、ジョグレバーの中央を押す(P22)

3 [エリアセッテイ]を選び、[50 ヘルツ]または[60 ヘルツ]に設定する(P22)

- 日本では、静岡県の富士川を境に東西で電源の周波数が異なります。 東日本にお住まいのかたは[50 ヘルツ]、西日本にお住まいのかたは[60 ヘルツ]に設定してください。

4 メニューボタン[MENU]を2回押す

- メニュー画面が消えます。

基本

お願い / ヒント

- エリア設定を行っても、横しまが完全になくならないことがあります。
- ご使用の地域が変わった場合、エリア設定をやり直す必要があります。(周波数が異なる場合)
- 海外でご使用時に横しまが発生した場合、エリア設定を変更してみてください。
- 設定にかかわらず、蛍光灯などの照明光を画面に入れると、横しまが出る場合があります。

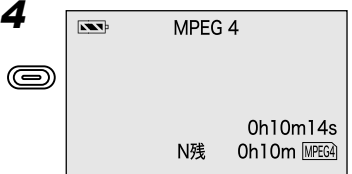
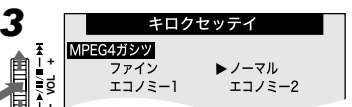
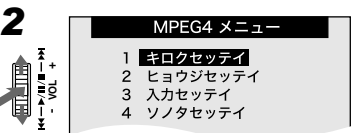
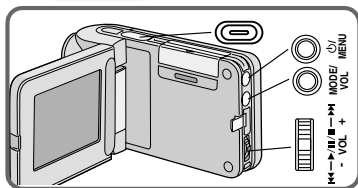
動画を撮る(MPEG 4動画記録)

MPEG4 形式の動画映像をカードに記録します。

1

2

3

4

1 動作モードを [記録→動画] に設定する (P21)

2 [キロクセッテイ] メニューを選ぶ (P22)

3 [MPEG4 ガシツ] を希望の設定にする

- [ファイン]、[ノーマル]、[エコノミー1]、[エコノミー2] から選びます。
- 設定後メニューボタンを２回押します。

4 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録が始まります。

■記録を停止するには

記録中に、記録 / 停止ボタンを押す

- 停止後に再度記録すると、別ファイルとして保存されます。

■画面の表示について

MPEG4 : 動画モード
赤色表示:記録中(動作ランプも点灯)
MPEG4 の点滅表示:カード未挿入
F/N/E1/E2:MPGE4 画質
F:ファイン、N:ノーマル、E1:エコノミー1、E2:エコノミー2 (E1 よりも画質は粗くなります)
残 0h00m : 残り記録可能時間

お願い / ヒント

- [エコノミー2]以外で記録したMPEG 4動画は当社製デジタルビデオカメラNV-MX1000/MX2500/EX21では再生できません。このとき、「RESET ボタンをおしてください」などの表示が出ることがありますが、故障ではありません。また、[エコノミー２]で記録した場合でも、短い映像(約 4 秒以下)の場合、上記の機種では再生できないことがあります。(2002 年 1 月現在)
- 電子メールで送るには(P53)
- [MPEG4ガシツ]をエコノミー1(または2)にすると画質が劣化します。(音質は変わりません)
- 被写体から約 50cm 以上離して記録してください。
- MPEG4 動画ファイルの記録時間のめやすは以下の通りです。

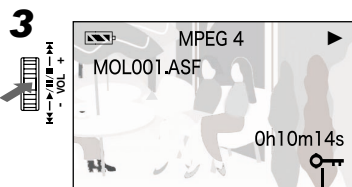
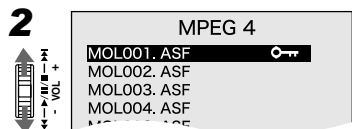
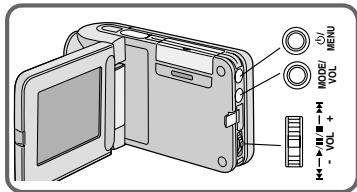
カード容量	F(ファイン)	N(ノーマル)	E(エコノミー)1	E(エコノミー)2
8MB	約2分	約3分	約6分	約8分
16MB	約4分	約7分	約14分	約19分
32MB	約10分	約15分	約30分	約40分
64MB	約20分	約32分	約60分	約80分

動画を見る(MPEG 4再生)

記録したMPEG4 ファイルを再生します。
(再生された映像は動きがカクカク(コマ落ち)します)

1

2

3

ロック設定 (P33)

1 動作モードを [再生→動画] に設定する (P21)

- 記録されている動画ファイルが一覧(1画面に6ファイルまで)表示されます。

2 ジョグレバーを上下に押して、再生するファイルを選ぶ

3 ジョグレバーの中央を押す

- 再生が始まります。
- 選んだファイル以降の番号
- 再生停止後、ファイル一覧に戻ります。

■動画再生を停止するには

再生中に、ジョグレバーの中央を約2 秒以上押す

- 一度、一時停止モードになったあと、ファイル一覧に戻ります。
- ポンと押すと、一時停止になります。

■ファイルの頭出し

再生中に、ジョグレバーを上下に押す

■画面の大きさを変更するには

[ヒョウジセッテイ] メニューの [再生ガメン] を [フルスクリーン] または [ツウジョウ] にする (P22)

- [フルスクリーン] にすると、映像が少し粗くなります。

基本

お願い / ヒント

- 音声を聞くには、イヤホン(付属)を接続する必要があります。(P29)
- 本機で再生できるのはASF 形式のファイルです。(再生できない場合もあります)
- ファイルがないときは、[NO FILE] と表示されます。
- MPEG4 動画を再生すると、被写体の動きが速い場合などでは、モザイクが出たり、コマ落ちしますが、異常ではありません。
- 他機で記録されたファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で記録された映像を再生すると、本機で画像サイズが正確に表示されないことがあります。
- MPEG4 の動画ファイル名は16 進数の連番で付けられます。
- MPEG4 動画の早送り / 早戻し再生などはできません。
- 音量調整については「音量を調整する」をお読みください。(P31)
- パソコン上で見るときは (P40)

静止画を撮る

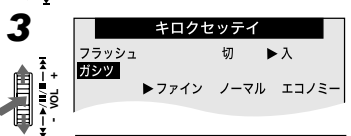
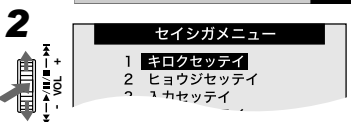
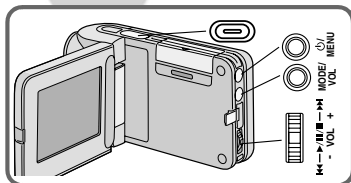
静止画をカードに記録します。

1

2

3

4

5

1 動作モードを［記録→静止画］に設定する (P21)

2 ［キロクセッテイ］メニューを選ぶ

3 ［ガシツ］を希望の設定にする (P22)

- ［ファイン］、［ノーマル］、［エコノミー］から選びます。

4 フラッシュを使用するときは、［キロクセッテイ］メニューで［フラッシュ］を［入］にする (P22)

- 設定後メニューボタンを 2 回押します。
- 暗いところでは ⚡ が表示され、フラッシュを使うことができるようになります。(明るいところでは表示が消えます)

5 記録 / 停止ボタンを押す

- 静止画がカードに記録されます。

■画面の表示について

PICTURE：静止画モード

赤色表示：記録中(動作ランプも点灯)

PICTURE の点滅表示：カード未挿入

F/N/E: メモリ画質

F：ファイン、N：ノーマル、E：エコノミー

残 0000：残り記録可能枚数

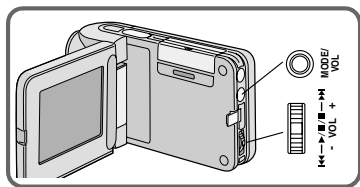
📖お願い / ヒント

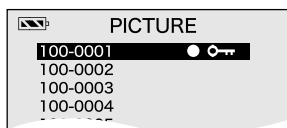
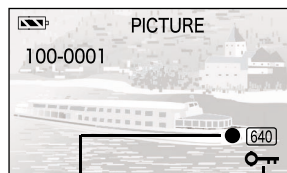
- 画像サイズは 640 × 480 (VGA) です。
- N［ノーマル］や E［エコノミー］に設定して記録すると、被写体によってはモザイク状の画面になります。
- フラッシュの使用可能範囲のめやすは約 60 ～ 100 cm です。
- 被写体から約 50cm 以上離して記録してください。
- 本機には逆光補正機能はありません。
- 静止画ファイルの記録枚数のめやすは以下の通りです。

カードの容量	F(ファイン)	N(ノーマル)	E(エコノミー)
8MB	約45枚	約95枚	約190枚
16MB	約100枚	約200枚	約400枚
32MB	約220枚	約440枚	約880枚
64MB	約440枚	約880枚	約1760枚

- 残り記録可能枚数が 10000 枚以上であっても、「9999」と表示されます。

静止画を見る(静止画再生)

記録した静止画を再生します。

1

2

3

ロック設定 (P33)

DPOF 設定 (P34)

1 動作モードを［再生→静止画］に設定する (P21)

- 記録されている静止画ファイルが一覧(1 画面に6ファイルまで)表示されます。

2 ジョグレバーを上下に押して、再生するファイルを選ぶ

3 ジョグレバーの中央を押す

- 静止画を再生します。

■次(前)の画像を再生するには

再生中に、ジョグレバーを上下に動かす

■静止画再生をやめるには

再生中に、ジョグレバーの中央を押す

- 静止画ファイルの一覧表示に戻ります。

画像の互換性について

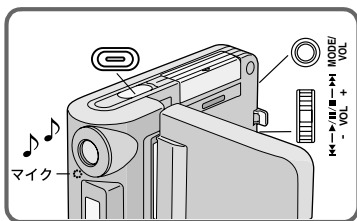
本機は電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された統一規格 DCF(Design rule for Camera File system)に準拠しています。

基本

お願い / ヒント

- ファイルがないときは、[NO FILE] と表示されます。
- 本機で再生できるのは JPEG 形式のファイルです。(再生できない場合もあります)
- 画面表示については、46 ページをお読み下さい。

録音する(ボイス録音)

音声をカードに記録します。

1 動作モードを［記録→ボイス］に設定する(P21)

2 記録 / 停止ボタンを押す

- 録音が始まります。

3 本機の内蔵マイクに向かって音声を入れる

1

2

VOICE

0h10m14s

残　0h10m VOICE

■録音を停止するには

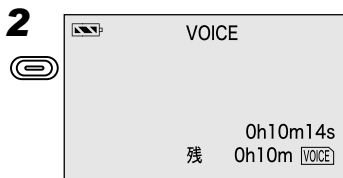
録音中に、記録 / 停止ボタンを押す

■画面の表示について

VOICE ：**音声(VOICE)モード**

赤色表示:記録中(動作ランプも点灯)

VOICE: の点滅表示:カード未挿入

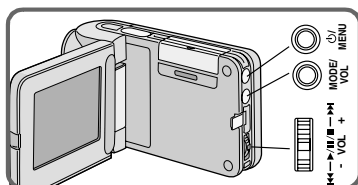
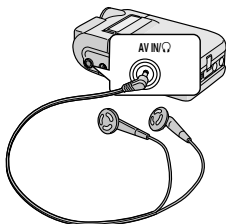
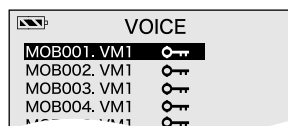
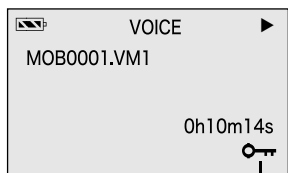
残 0h00m :残り録音可能時間

お願い / ヒント

- 音声(ボイス)ファイルの記録時間のめやすは以下の通りです。

カードの容量	時 間
8MB	約 25 分
16MB	約 58 分
32MB	約120分
64MB	約240分

- 音声 (ボイス) ファイルはすべて自動的にロック (P33) されます。
- 画面はブルーバック(青画面)になります。
- 記録開始後、約 5 秒で液晶モニターが消灯しますが、記録は正常に行われています。記録を停止すると、再び点灯します。
- 記録中にボリュームボタン[MODE/VOL]を押すと、液晶モニターが点灯しますが、その後約５秒で消灯します。
- 記録時の音声を確認するには、イヤホン(付属)を接続することが必要です。(音量の調整はできません)

録音した音声を聞く（ボイス再生）

本機で録音した音声ファイルを再生します。 **イヤホン(付属)を付けると、音声を聞くことができます。**

ロック設定（P33）

1 イヤホンのプラグを差し込む

2 動作モードを ［ 再生→ボイス ］に設定する (P21)

- 記録されている音声ファイルが一覧(1画面に6ファイルまで)表示されます。

3 ジョグレバーを上下に押して、再生するファイルを選ぶ

4 ジョグレバーの中央を押す

- 音声ファイルを再生します。
- 再生後、約５秒でモニターが消灯します。
- 再生終了後、ファイル一覧に戻り、液晶モニターが再点灯します。

■音声再生を停止するには

再生中に、ジョグレバーの中央を約２秒以上押す

- ポンと押すと、一時停止になります。(液晶モニターも点灯します)
- 一度、一時停止モードになったあと、ファイル一覧に戻ります。

■早送り（早戻し）再生するには

再生中に、ジョグレバーを上下に押し続ける

- 上に押し続けると早送り再生に、下に押し続けると早戻し再生になります。(約 1 秒以上押し続けると、１０倍速、約７秒以上押し続けると６０倍速になります)
- 手を離すと、通常の再生に戻ります。
- 次のファイルになると通常の再生に戻ります。

■ファイルの頭出し

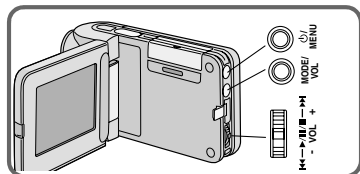
再生中に、ジョグレバーを上下に押す

お願い / ヒント

- 画面はブルーバック(青画面)になります。
- ファイルがないときは、[NO FILE] と表示されます。
- モニター消灯後にボリュームボタン[MODE/VOL]やジョグレバーを押すと、再点灯しますが、その後約５秒で消灯します。
- イヤホンの L/R は左 / 右です。

基本

音楽を聴く(AAC 音楽再生)

ＳＤオーディオ ＰＣレコーディングキット／ SH-SSK1(別売)(P5) を使うと、MPEG2-AAC 形式の音楽ファイルが聴けます。**(SD メモリーカードのみ対応)**

1 イヤホンを接続する (P29)

2 動作モードを［再生→音楽］に設定する (P21)

- 記録されている音声ファイルが一覧(1画面に６ファイルまで)表示されます。

3 ［リピートセッテイ］メニューを選ぶ (P22)

4 ［オンガクリピート］を希望の設定にする

- [1 曲]、[オール] から選びます。リピート再生しない場合は、[切] を選びます。

5 ジョグレバーを上下に押して、再生するファイルを選ぶ

6 ジョグレバーの中央を押す

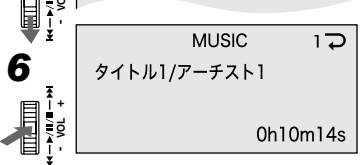
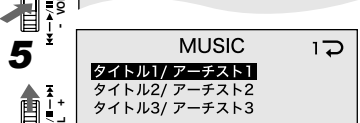
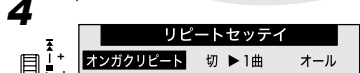
- 音楽ファイルを再生します。
- 再生後、約５秒でモニターが消灯します。
- 再生終了後、ファイル一覧に戻り、液晶モニターが再点灯します。

■音声再生を停止するには

再生中、ジョグレバーの中央を約 2 秒以上押す

- ポンと押すと、一時停止になります。

■ファイルの頭出し

再生中に、ジョグレバーを上下に押す

お願い / ヒント

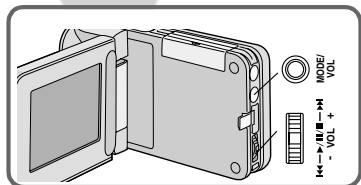
- **イヤホンを付けないと、音楽を聴くことはできません。**
- タイトル・アーチスト名が表示されない場合があります。また、漢字やひらがなのタイトルは表示しません。
- モニター消灯後、ボリュームボタン [MODE/VOL] やジョグレバーを押すと、再点灯しますが、その後約５秒で消灯します。
- タイトル / アーチスト名は(前から)17文字まで表示されます。
- 本機は再生専用機として使えます。曲の記録・消去などはできません。ただし、フォーマット機能を使うと、カード内の全データが消去されます。
- マルチメディアカードは使えません。
- 本機で再生できるのは MPEG2-AAC 形式のファイルです。ファイルがないときは、[NO FILE] と表示されます。

音量を調整する

音声ファイルや動画映像ファイル、音楽ファイルの再生音量を調整します。

1

2

3

音声モードの例

1 **ファイルの再生中に、ボリュームボタン [MODE/VOL] を押す**

- 音声バーが表示されます。

2 **音量を大きくするときは、ジョグレバーを上に押し、小さくするときは、下に押す**

3 **ボリュームボタン [MODE/VOL] を押す**

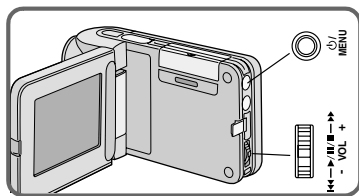
- 音声バーが消えます。
- 音量調整後、5秒間なにも操作しなければ、自動的に音声バーが消えます。

お願い / ヒント

- 外部機器から映像を入力している場合は、本機から音声を聞くことはできません。また、入力音量の調整もできません。外部機器で再生音声・音量を確認してください。(P37)
- 記録時の音声を確認する場合、音量の調整はできません。

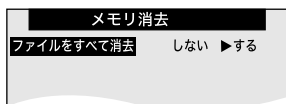
基本

不要なファイルを消去する

不要になった静止画や音声、動画映像ファイルを消去します。

2

メモリ消去
ロック設定
DPOF設定
セッテイカクニン
戻る

静止画再生モードの例

3 **4**

ファイルをすべて消去するには

1 消去したいファイルを再生、または再生の一時停止状態にする

(P25、27、29)

2 メニューボタン [MENU] を押す

- 静止画再生モード以外では、[DPOF 設定]、[セッテイカクニン] は表示されません。

3 ジョグレバーを上下に押して、[メモリ消去]を選び、中央を押す

- 確認のメッセージが表示されます。

4 ジョグレバーを上下に押して、[ハイ] を選び、中央を押す

- ファイルが消去されます。
- [イイエ]を選ぶと消去を止めます。

■ファイルをすべて消去するには

メニュー画面から以下の手順で行います。

❶ [メモリ消去] メニューを選び、[ファイルをすべて消去] を [する] にする (P22)

❷ 確認メッセージが表示されたら、[ハイ] を選ぶ

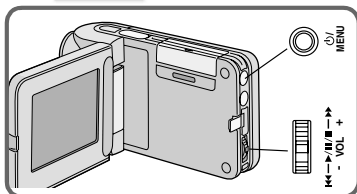
❸ メニューボタンを２回押す

選んでいるモードのファイルがすべて消去されます。

お願い / ヒント

- 音声（VOICE）ファイル (P29) は本機で消去してください。
- 音楽 (MPEG2-AAC) ファイル (P30) は本機で消去できません。
- ロックされているファイルは消去できません。ロックを解除してから消去してください。
- 本機でファイルを消去すると、他機で設定したDPOF 情報が消去される場合があります。
- 一度消去したファイルは元に戻りません。
- ボイス録音 (P28) で記録したファイルは自動的にロックされています。ロックを解除してから消去してください。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側のときは消去できません。(P49)
- 本機で再生できない静止画ファイル（JPEG 以外）でも消去される場合があります。

ファイルを誤消去防止する(ロック設定)

カードに記録したファイルをロック(誤消去防止)します。

2

MENU

メモリ消去
ロック設定
DPOF設定
セッテイカクニン
戻る

静止画再生モードの例

3

100-0011
100-0012
100-0013

ファイルをすべてロックする場合

❶

❷

すべて設定
すべて解除

1 ロック設定するファイルを再生、または再生の一時停止状態にする

(P25、27、29)

2 メニューボタン [MENU] を押す

- 静止画再生モード以外では、[DPOF 設定]、[セッテイカクニン] は表示されません。

3 ジョグレバーを上下に押して、[ロック設定]を選び、中央を押す

- ファイルがロック設定されます。
- が表示されます。
- 複数枚設定するときは、手順 1 ～ 3 を繰り返します。

■ロック設定を解除するには

ロック設定したファイルを再生(一時停止)し、[ロック設定] を選ぶ

- が消えます。

■ファイルをすべてロック (ロック解除) するには

メニュー画面から以下の手順で行います。

❶ [カードヘンシュウ] メニューを選び、[ロック設定] を [する] にする (P22)

❷ [すべて設定] を選ぶ

- 全ファイルのロックを解除するときは、[すべて解除] にします。

選んでいるモードのファイルがすべてロックされます。

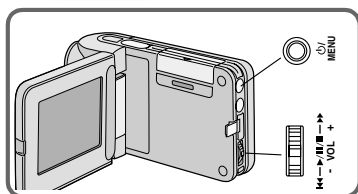
より楽しく

お願い / ヒント

- カードをフォーマットした場合、ロックしたファイルも消去されます。
- ロック設定を行う(解除する)ファイル数が多い場合、時間がかかります。
- 音楽 (MPEG2-AAC) ファイル (P30) はロック解除できません。
- ロック設定は本機でのみ有効です。

プリント情報を書き込む(DPOF 設定)

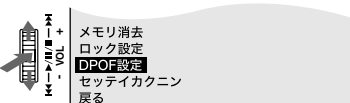
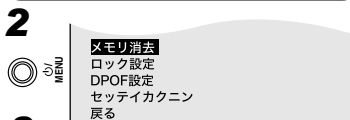
プリントしたい静止画、枚数などの情報(DPOF データ)をカードに書き込みます。

DPOF 設定をすべて解除する場合

1 DPOF 設定する静止画を再生する (P27)

2 メニューボタン [MENU] を押す

3 ジョグレバーを上下に押して、[DPOF 設定] を選び、中央を押す

4 ジョグレバーを上下に押して、枚数を設定し、中央を押す

- DPOF 設定されます。
- 1 枚以上に設定した場合、● が表示されます。

■DPOF 設定を確認するには

DPOF 設定後、DPOF 設定した静止画を再生し、メニューボタン [MENU] を押したあと、ジョグレバーで [セッテイカクニン] を選び、中央を押す

- DPOF 設定したファイルのスライドショー (P35) が始まります。
- スライド ▶ 表示が出ます。

■DPOF 設定をすべて解除するには

メニュー画面から以下の手順で行います。

❶ [カードヘンシュウ] メニューを選び、[DPOF 設定] を [する] にする (P22)

❷ [すべて 0 枚に設定] にする

- [すべて 1 枚に設定] にすると、全静止画に DPOF が 1 枚に設定されます。

📖お願い / ヒント

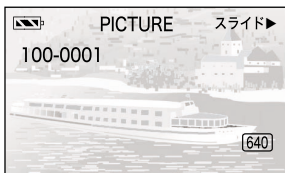
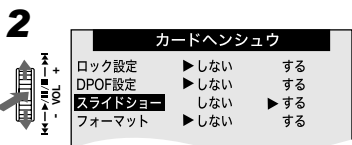
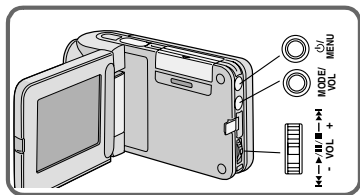
- プリント枚数は 0 ～ 99 枚まで設定できます。
- 他機で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で設定してください。
- DPOF とは、Digital(デジタル) Print(プリント) Order(オーダー) Format(フォーマット) の略です。カードの画像にプリント情報などを付加します。DPOF 情報は、DPOF 対応機器で使用できます。
- DPOF 設定を行う(解除する)ファイル数が多い場合、時間がかかります。

静止画を次々と再生する(スライドショー)

静止画を次々と再生します。

1

2

カードヘンシュウ		
ロック設定	▶しない	する
DPOF設定	▶しない	する
スライドショー	しない	▶する
フォーマット	▶しない	する

1 動作モードを［再生→静止画］に設定する(P21)

2 ［カードヘンシュウ］メニューの［スライドショー］を［する］にする(P22)

- 選んでいる静止画からスライドショーが始まります。
- すべての画像が約5秒ずつ再生されて、停止します。
- スライド ▶ 表示が出ます。

■スライドショーを途中でやめるには

ジョグレバーの中央を約2秒以上押す

- ジョグレバーの中央をポンと押すと､一時停止になります。

お願い／ヒント

- 他機で設定したスライドショーの順番や再生時間は本機では適応されません。(すべて再生されます)
- 他機で記録した静止画など､ファイルによってはスライドショーの再生時間が長くなります。

カードをフォーマットする

通常、カードはフォーマット(初期化)する必要はありません。「このカードは使えません」とメッセージが出た場合にフォーマットしてください。

1

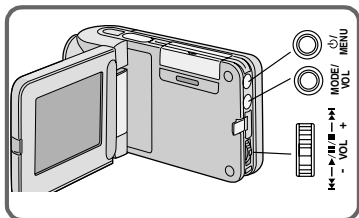
MODE 再生 記録
選ぶ
動画 ボイス
静止画 音楽
押/決定

2

カードヘンシュウ
ロック設定 ▶しない する
DPOF設定 ▶しない する
スライドショー ▶しない する
フォーマット しない ▶する

静止画再生モードの例

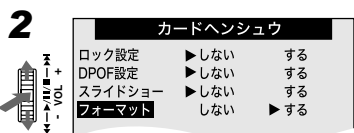
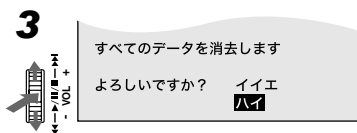
3

すべてのデータを消去します
よろしいですか？ イイエ
ハイ

1 **動作モードを [再生→動画]、[再生→静止画]、[再生→音声] のいずれかに設定する**

2 **[カードヘンシュウ] メニューで [フォーマット] を [する] にする** **(P22)**

- 確認のメッセージが表示されます。

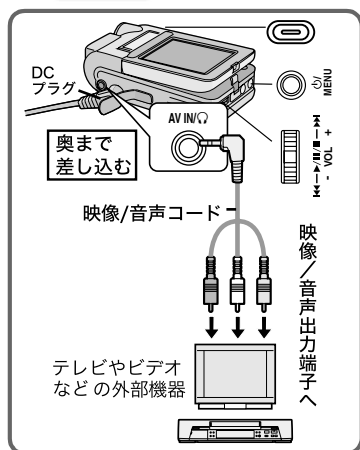
3 **ジョグレバーを上下に押して、[ハイ] を選び、中央を押す**

- カードがフォーマットされます。
- 「フォーマット中です」と表示されます。

フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータ(静止画、MPEG4動画、音声データ、音楽データなど)は消去され、元に戻すことができません。すべて消してよいかよく確認してからフォーマットしてください。

お願い / ヒント

- フォーマットは本機または SD-Jukebox(別売の SD オーディオ PC レコーディングキット /SH-SSK1 に同梱)(P40)側で行ってください。本機以外でフォーマットされたカードでは使えない場合があります。また、本機でフォーマットしたカードは、他の機器で使えない場合があります。使用の機器側でフォーマットしてください。
- ロックしたファイルも消去されます。
- ＳＤ メモリーカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側のときはフォーマットできません。

外部機器から映像を記録する

テレビなどの外部機器から動画や静止画を記録します。

1 外部機器と本機を映像 / 音声コード（付属）でつなぐ

- 接続するときは、電源を切っておいてください。
- 外部機器の映像 / 音声出力端子と、本機の AV 入力端子 [AV IN] を接続します。

2 動作モードを [記録→動画]、または [記録→静止画] に設定する (P21)

3 [入力セッテイ] メニューで [入力モード] を [AV 入力] にする (P22)

4 外部機器を再生する

5 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録が始まります。
- 記録前に画質を設定しておいてください。(P24、26)

■停止するには

記録中に、記録 / 停止ボタンを押す

2

3

5

お願い / ヒント

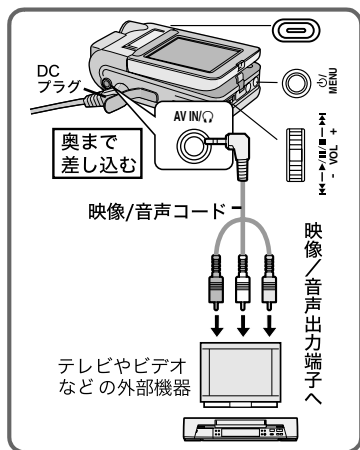
- 著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像は記録できません。
- 音声はステレオの L(左)・R(右)がミックスされ、モノラルで記録されます。
- ワイド画像(16:9)は正しく記録できません。
- 記録中にコードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。
- ＡＣ アダプターを使用してください。
- 本機を 10 分間操作しなかったときは、自動的に電源が切れます。(入力設定は[カメラ]に戻ります)

自動録画機能を使う

接続した外部機器から映像入力信号を受けると、自動的に録画を開始します。録画タイマー機能を併用すると、終了までの時間を設定できます。**(動画記録モード時のみ)**

2

3

4

[準備]
- 本機から映像 / 音声コード(付属)を抜いておく
- 外部機器のタイマー設定などを行う

1 AC アダプターを本機に接続する (P18)

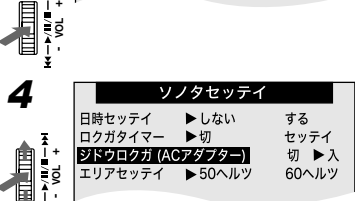
> AC アダプターを本機に接続しないと、この機能は動作しません。(バッテリーでは動作しません)

2 動作モードを [記録→動画] に設定する (P21)

3 [入力セッテイ] メニューで [入力モード] を [AV 入力] にする (P22)

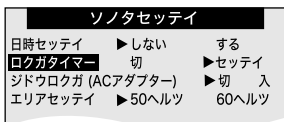
4 [ソノタセッテイ] メニューで [ジドウロクガ (AC アダプター)] を [入] にする (P22)

5 本機の電源を切る (P20)

6 外部機器の映像信号が出力されていないのを確認して、映像 / 音声コードで本機とつなぐ
- 接続するときは、外部機器の電源を切っておいてください。
- 外部機器の映像･音声出力端子と、本機の AV 入力端子 [AV IN] を接続します。
- **映像入力信号を検知すると、自動的に録画が始まります。**

■録画タイマー機能

記録開始から終了までの時間を設定します。 前ページ手順４のあと、以下の操作を行ってください。
録画タイマー機能を使わない場合はこの手順は必要ありません。

1

ソノタセッテイ
日時セッテイ ▶しない する
ロクガタイマー 切 ▶セッテイ
ジドウロクガ (ACアダプター) ▶切 入
エリアセッテイ ▶50ヘルツ 60ヘルツ

2

1 [ソノタセッテイ] メニューで [ロクガタイマー] を [セッテイ] に設定する

2 [ロクガタイマー] を希望の時間にする

- [15] 分、[30] 分、[45] 分、[60] 分、[90] 分、[120] 分が設定できます。
- 録画タイマー機能を停止するには、[ロクガタイマー] を [切] にします。
- 録画タイマーが働くのは、自動録画時のみです。

■途中で停止するには

録画中に、記録 / 停止ボタンを押す

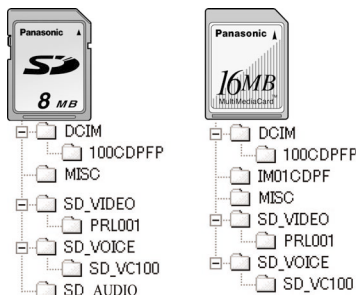
- 録画タイマー機能で設定した時間が経過した場合は自動的に録画が停止し、電源が切れます。

お願い / ヒント

- 自動録画時以外では録画タイマーは働きません。
- 著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像は記録できません。コピーガード信号が入った映像が入力されると、記録を停止し、電源が切れます。
- 設定した時間が経過しなくても、カード容量がいっぱいになると、記録が自動的に停止します。
- 自動録画は 1 回だけ動作します。
- 外部機器のタイマー設定などは、1 分ほど余裕をもった設定にしてください。
- 本機を 10 分間操作しなかったときは、自動的に電源が切れます。(入力設定は[カメラ]に戻ります) その場合、再度設定しなおしてください。
- 記録中にコードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。
- 記録時間のめやすは以下の通りです。

カード容量	F(ファイン)	N(ノーマル)	E(エコノミー)1	E(エコノミー)2
8MB	約2分	約3分	約6分	約8分
16MB	約4分	約7分	約14分	約19分
32MB	約10分	約15分	約30分	約40分
64MB	約20分	約32分	約60分	約80分

カード内のデータについて

USB リーダーライター/BN-SDCAP3（別売）または PC カードアダプター/BN-SDAAP3（別売）（ＳＤオーディオ ＰＣレコーディングキット/SH-SSK1 に同梱の USB リーダーライターも使えます）を使うと、パソコンでカードのデータのコピーや再生などができます。フォルダー構造は以下のようになっています。

[100CDPFP]:
静止画が JPEG 形式（IMGA0001.JPG など）で記録されています。（本機では 100-0001 などと表示されます）JPEG 画像対応のレタッチソフトなどで開けます。

[MISC]:
静止画に設定された DPOF データのファイルが入っています。

[PRL001]:
MPEG4 動画（ASF 形式）（MOL001.ASF など）で記録されています。

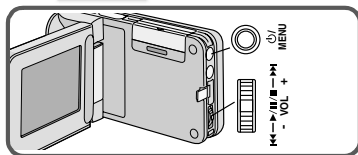
[SD_VC100]:
音声データ（MOB001.VM1 など）が記録されています。

[SD_AUDIO]:
SD-Jukebox（別売の SD オーディオ PC レコーディングキットに同梱）などで記録された音楽データ（AOB001.SA1 など）のファイルが入っています。

お願い / ヒント

- カードをフォーマットするときは、本機または、SD-Jukebox 側でフォーマットしてください。
- [SD_VOICE] フォルダーやフォルダー内のボイス音声ファイル、[SD_AUDIO] フォルダーは隠しファイルに設定されています。パソコンの設定によっては、これらのフォルダーやファイルはエクスプローラやマイコンピュータの画面に表示されません。
- ＭＰＥＧ4 の動画ファイル名は 16 進数の連番で付けられます。（例 00A=010 です）
- パソコン上で動画を再生すると、上下に黒い帯が出ることがありますが、異常ではありません。
- パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機では認識できません。
- [DCIM]、[IM01CDPF]、[SD_VIDEO]、[SD_VOICE] などはフォルダー構成上必要ですが、実際の操作とは関係ないものです。
- MPEG4 動画（ASF 形式）ファイルは、Windows Media Player（Ver.6.4 以降）で再生できますが、音声が出ない場合は専用のソフトウェア（G.726）をダウンロードする必要があります。Windows Media Player にはこのソフトウェアの自動ダウンロード機能があります。インターネットに接続し、MPEG4 動画ファイルをダブルクリックすると、ソフトウェアが自動的にダウンロードされます。（Mac OS で再生する場合は、Windows Media Player for Macintosh が必要です。）
- カード内のフォルダーをパソコン上で消去しないでください。本機でカードが読み込めなくなる場合があります。

液晶モニターを調整する

液晶モニターの明るさや色レベルを調整します。

1

ヒョウジセッテイ

日時ヒョウジ	切	▶日時	日付
ヒョウジモード	▶切		入
LCDチョウセイ	しない		▶する
再生ガメン	フルスクリーン		▶ツウジョウ
ヒョウジハンテン	▶しない		する

動画再生モード時の例です。

2

LCDチョウセイ

LCDアカルサ
クライ ❙❙❙❙−−−− アカルイ

LCDイロレベル
ウスイ ❙❙❙❙−−−− コ　イ

3

4

MENU

1 [ヒョウジセッテイ]メニューの[LCD チョウセイ]を[する]に設定する（P22）

- バー表示が出ます。

2 ジョグレバーの中央を押して、[LCD アカルサ]または[LCD イロレベル]を選ぶ

- [LCD アカルサ]は画面の明るさを調整します。上に押すほど明るくなります。
- [LCD イロレベル]は画面の色の濃さを調整します。上に押すほど濃くなります。

3 ジョグレバーを上下に押して、調整する

4 メニューボタン [MENU] を２回押す

- メニュー画面が消えます。

お願い / ヒント

- 動画記録モード、静止画記録モードで調整してください。
- 液晶モニターの調整内容は、実際に録画される映像には影響しません。
- LCD とは Liquid（リキッド） Crystal（クリスタル） Display（ディスプレイ） の略で、液晶モニターのことです。

より楽しく

内蔵日付用電池を充電する

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。電源を入れたとき、[ ] 表示が出る場合、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電します。

1 バッテリーを外し、AC アダプターを接続する (P18)

2 本機の電源を切ったまま、約 12 時間、そのままにしておく

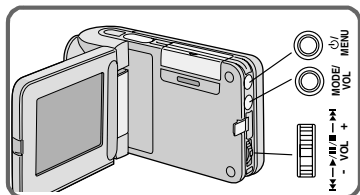
- 内蔵電池が充電されます。

年月日・時刻を合わせる

年月日・時刻が合っていないときに設定します。以下は「2002 年 10 月 15 日 12 時 30 分」に合わせる場合の例です。

1

2,3,4,5,6

7

MENU

1 [ソノタセッテイ] メニューの [日時セッテイ] を [する] に設定する

2 ジョグレバーを上下に押して、[2002] にし、中央を押して、月に送る

3 ジョグレバーを上下に押して、[10] にし、中央を押して、日に送る

4 ジョグレバーを上下に押して、[15] にし、中央を押して、時に送る

5 ジョグレバーを上下に押して、[12] にし、中央を押して、分に送る

6 ジョグレバーを上下に押して、[30] にする

7 メニューボタン [MENU] を押して、日時設定を終わる

- 秒が 0 から始まり、時計が動き始めます。
- もう一度メニュー[MENU]ボタンを押すと、メニューが消えます。

お願い / ヒント

- 年の変わりかたは 2000 → 2001 →・・・ 2089 → 2000 となります。
- 時間は 24 時間表示です。
- 内蔵電池は誤差を生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。また[ ]表示が出ている場合は、内蔵電池の充電後に日時を設定してください。(P41)

使い終わったら

以下のようにして、しまっておきます。

1 電源を切る (P20)

2 カードを取り出す (P19)

3 液晶モニターを閉じる (P20)

4 AC アダプターを外す

お願い / ヒント

- 長時間使用しないときは、バッテリーも外してください。(P17)

メニュー画面の表示

内容については関係するページをお読みください。

[記録系メニュー]

MPEG4メニュー

1 キロクセッテイ ❶
2 ヒョウジセッテイ ❷
3 入力セッテイ ❸
4 ソノタセッテイ ❹

セイシガメニュー

1 キロクセッテイ ❺
2 ヒョウジセッテイ
3 入力セッテイ
4 ソノタセッテイ

VOICEメニュー

1 ヒョウジセッテイ
2 ソノタセッテイ

❶ **キロクセッテイ**

MPEG4ガシツ
▶ファイン　ノーマル —1
エコノミー1　エコノミー2

❷ **ヒョウジセッテイ**

日時ヒョウジ　切　▶日時　日付 —2
ヒョウジモード　切　▶入 —3
LCDチョウセイ ▶しない　する —4
ヒョウジハンテン▶しない　する —5

❸ **入力セッテイ**

入力モード　▶カメラ　AV入力 —6

❹ **ソノタセッテイ**

日時セッテイ　▶しない　する —7
ロクガタイマー　▶切　セッテイ —8
ジドウロクガ (ACアダプター)　▶切　入 —9
エリアセッテイ　▶50ヘルツ　60ヘルツ —10

❺ **キロクセッテイ**

フラッシュ　切　▶入 —11
ガシツ
▶ファイン　ノーマル　エコノミー —12

1 MPEG4 ガシツ(P24)
MPEG4 動画映像の記録画質を設定します。

2 日時ヒョウジ
画面に日付、日時を表示させます。

3 ヒョウジモード
[切]にすると、画面に動作モード情報などが表示されなくなります。

4 LCD **チョウセイ**(P41)
液晶モニターの明るさや色レベルを調整します。

5 ヒョウジハンテン(P20)
液晶モニターに表示される画面を反転します。

6 入力モード(P37、38)
外部機器から映像信号を入力するときは、[AV 入力] を選びます

7 日時セッテイ(P42)
日時を設定します。

8 ロクガタイマー(P39)
自動録画する時間をタイマー設定します。

9 ジドウロクガ(AC **アダプター**)(P38)
外部機器から映像信号が入力されると、MPEG4 動画記録を開始します。

10 エリアセッテイ
静岡県の富士川を境に電源の周波数が異なります。東日本にお住まいのかたは、[50 ヘルツ]、西日本にお住まいのかたは [60 ヘルツ] に設定してください。

11 フラッシュ(P26)
フラッシュの設定を行います。
本機の電源を切 / 入すると、フラッシュは [入] に戻ります。

12 ガシツ(P26)
JPEG 静止画の記録画質を設定します。

13 ファイルをすべて消去(P32)
全ファイルを消去します。

14 ロック設定(P33)
本機での誤消去防止のために、ロック設定を行います。

15 フォーマット(P36)
カードが使用できないときなどに、カードを初期化します。カードの内容がすべて消去されます。

16 再生ガメン(P25)
表示画面の大きさを選びます。

17 DPOF 設定(P34)
DPOF 対応機器で使用するために、プリントしたい画像や枚数を設定します。

18 スライドショー(P35)
カードに記録した静止画を約5秒ずつ再生します。

19 オンガクリピート(P30)
MPEG2-AAC 形式の音楽ファイルを聴くときに、繰り返し再生するように設定します。

画面の表示

1　バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ［電池4］→［電池3］→［電池1］→［電池0］と変わります。バッテリーの残量表示が「［電池1］」のときは、数分でバッテリーがなくなりますので充電してください。

(AC アダプター使用時に［電池3］が表示される場合がありますが、問題ありません)

2　状態表示

[再生系]

▶:　再生

❚❚:　一時停止

◀◀ / ▶▶:　早戻し / 早送り再生（音声再生時のみ）

（10 × ◀◀ / ▶▶ で 10 倍速、60 × ◀◀ / ▶▶ で 60 倍速になります）

⊃:　繰り返し再生

スライド ▶:　スライド再生

[記録系]

ϟ :　フラッシュ表示

3　カード表示

0h00m10s:

MPEG4 動画撮影、音声 (VOICE) 記録の記録時間

残 00 枚 :

静止画の記録可能残り枚数 (残り 0 枚で赤色点滅となります)

残 0h10m:

MPEG4 動画撮影、音声 (VOICE) 記録可能残り時間 (残り 1 分を切ると、赤色表示となり、残り時間がなくなると、赤色点滅となります)

F: ファイン画質モード

N: ノーマル画質モード

E（MPEG ４動画時は E1/E2）:

エコノミー画質モード

［640］:640 × 480 の画像サイズ

本機で記録していない静止画の場合は、水平方向画素数によって以下のようなサイズ表示になります。

	水平方向画素数
UXGA	:1600 以上のとき
SXGA	:1280 から 1600 のとき
XGA	:1024 から 1280 のとき
SVGA	:800 から 1024 のとき
640	:640 から 800 のとき

(640 未満のときは、サイズは表示されません)

［PICTURE］(青): 静止画モード

［PICTURE］(赤): 静止画記録中

［PICTURE］(赤 / 点滅):

カードなし (静止画モード)

［PICTURE］(緑):

カードにアクセス中、静止画記録操作不可時

MPEG4 (青):MPEG4 動画モード
MPEG4 (赤):MPEG4 動画記録中
MPEG4 (赤 / 点滅):
カードなし (MPEG4 動画撮影モード)

MPEG4 (緑):
カードにアクセス中、MPEG4 動画記録操作不可時
VOICE (青): 音声モード
VOICE (赤): 音声記録中
VOICE (赤 / 点滅):
カードなし (音声モード)
VOICE (緑):
カードにアクセス中、音声 (VOICE) 記録操作不可時

MUSIC (青): 音楽再生モード
MUSIC (赤): カードにアクセス中
MUSIC (赤): カードなし(音楽モード)
No.00: データ番号
00 枚 :DPOF 設定枚数
●:
DPOF 設定済み (1 枚以上に設定)
: ロック設定

4 年月日、時刻表示(P44)
時刻は 24 時間表示です。

5 音量表示(P31)
音量を調整するときに表示します。

6 再生ファイル表示
PICTURE:静止画像
MPEG4:MPEG4 動画
VOICE:音声データ
MUSIC:音楽データ

7 ファイル名表示
再生ファイルの名前を表示します。

8 警告表示
「バッテリーがなくなりました」
バッテリー容量がなくなっています。十分に充電したバッテリーと交換してください。
「カードを入れてください」
カードが入っていません。またはカードが途中までしか入っていない可能性があります。
「カード残量がありません」
カードの容量がありません。不要なファイルを消去するか、新しいカードを入れてください。
「カードがロックされています」
SD メモリーカードの書き込みスイッチが「LOCK」側になっています。(P49)
「このカードは使えません」
未対応のカードです。本機で認識できません。フォーマットしてください。(P36)
「消去できません」
ロック設定されているデータに消去操作をしています。
「再生できません」
再生不能のデータです。
「RESET そうさをしてください」
記録・再生操作ができない、画面が動かなくなったときに電源ボタンを約5秒間押してください。それでも動かないときは電源を抜いてください。
「コピーガードあり 録画できません」
著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像を記録しようとしています。このデータは記録できません。

使用上のお願い

■ＳＤマルチカメラについて

磁気や電磁波が発生するところ(電子レンジやテレビ、ゲーム機、マイコンなど)からはできるだけ離れて使う
テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。

- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気やマイコンなどのデジタル回路の出す電磁波により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、改めて接続して電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で記録映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりが入ると、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よくしぼった布でふき、そのあと、乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障します。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。
- 本機は業務用ではありません。

■バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる(低くなる)ほど影響が大きくなります。

- 長時間使用しないときは、必ずバッテリーを外してください。バッテリーを付けたままにしておくと、電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。
- バッテリーは涼しくて、湿度が低く、温度がなるべく一定のところに保管してください。極端に低温･高温のところに保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、充電容量を使い切ってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーには寿命があります。
- 不要(寿命になったなど)バッテリーは火中に投入しないでください。破裂するおそれがあります。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

- 下記の充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
- お買い上げの販売店または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ。もしくは(社)電池工業会にご確認ください。
  (ホームページ http://www.baj.or.jp)

使用済み充電式電池(バッテリー)の取り扱い

- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■本機の取り扱いについて

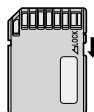
- 使用後は電源を切り、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。(電源ボタンで電源を切った状態でも、約 0.5W の電源を消費しています)
- 半年に一度ぐらいは本機の電源を入れ、動作させてください。
- 本機は他の機器などから離してください。スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、画像がゆがんだりします。また、テレビやゲーム機などから出る電磁波により、お互いに影響をおよぼし、テレビや本機の映像が乱れる場合があります。

■お手入れについて

- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。外装ケースが変質したり、塗料がはげることがあります。お手入れ時は、やわらかい、乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ布をひたし、よくしぼってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- レンズ前面が汚れたときは、綿棒などでふいてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■カードについて

- 動作中ランプが点灯中(カードにアクセス中)は、カードを抜いたり、電源を切らないでください。また、振動や衝撃を与えないでください。カードやカードの内容が破壊されることがあります。
- SD メモリーカードには書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。戻すと、可能になります。

- カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。カードやカードの内容が破壊されることがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時は、カードを取り出し、収納袋(収納ケース)に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などでふれないでください。
- 不適切な取り扱いにより、カードのデータが破壊されたり消失した場合は、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご容赦ください。

■液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、やわらかい、乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。このときは、やわらかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部温度が上がると通常の明るさに戻ります。

**液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が表れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。
これらはカードには記録されませんので、ご安心ください。**

■レンズのくもりについて

電源スイッチを切り、1時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■充電中の電源ランプについて

充電中は電源ランプが点滅します。
(正常充電時は約2秒間隔の点滅)
電源ランプの点滅速度が速いときや、逆に遅いとき(もしくは消灯時)は異常が起こっていると考えられます。
点滅速度によって、以下の状態が考えられます。

約0.5秒間隔で点滅:

- 本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P57)にお問い合わせください。

約6秒間隔で点滅:

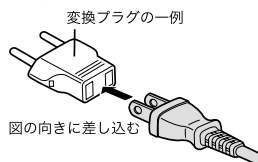
- バッテリーや周囲の温度が高い、もしくは低い場合です。充電はできますが、時間がかかります。

消灯:

充電完了です。
充電を完了していないのに、電源ランプが消灯しているときは、以下の理由が考えられます。

- バッテリーや周囲の温度が高すぎる、もしくは低すぎます。適温になるまで待ってから、再度充電してください。
- ACアダプターの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P57～59)にお問い合わせください。

海外で使う

AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧 (100V、120V、220V、240V)、電源周波数(50Hz、60Hz) に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

AC アダプターは、全世界の電源電圧(100V、120V、220V、240V)、電源周波数(50Hz、60Hz)でご使用いただけるように設計しております。
市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
カナダ	A	アメリカ合衆国	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	ノルウェー	C	アイルランド	C	ハンガリー	C
イギリス	B.BF	フィンランド	C	イタリア	C	フランス	C
オーストリア	C	ベルギー	C	ギリシャ	C	ポーランド	B.C
オランダ	C	ポルトガル	B.C	スイス	B.C	ルーマニア	C
スウェーデン	C	ロシア	C	スペイン	A.C	ウクライナ	C
デンマーク	C	ベラルーシ	C	ドイツ	C	カザフスタン	C
アジア							
インド	B.C	モルジブ	B	インドネシア	B.C	バングラデシュ	C
シンガポール	B.BF	フィリピン	A.C.S	タイ	A.BF.C	ベトナム	A.C
大韓民国	A.B.C	中華人民共和国	A.B.BF.C.S	スリランカ	B	マカオ特別行政区	B.C
香港特別行政区	B.BF	マレーシア	B.BF.C	ネパール	C	モンゴル	C
パキスタン	B.C	台湾	A				
オセアニア							
オーストラリア	S	トンガ	S	グァム島	A	ニュージーランド	S
タヒチ	C	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	バハマ	A	コロンビア	A	プエルトリコ	A
ジャマイカ	A	ブラジル	A.C	チリ	B.C	ベネズエラ	A
ハイチ	A	ペルー	A.C	パナマ	A	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	クウェート	B.C	イラン	C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	ザンビア	B.BF	エジプト	B.BF.C	タンザニア	B.BF
カナリア諸島	C	南アフリカ共和国	B.C	ギニア	C	モザンビーク	C
ケニア	B.C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の、現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

その他

故障と思ったら(Q & A)

1:　電源が入らない。

1-1: バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。

1-2: バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。

2:　電源が入っていてもすぐに切れる。

2:　バッテリーが消耗していませんか。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。

3:　記録できない。

3-1: カードが入っていますか。

3-2: SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると記録できません。

3-3: メモリー容量は十分ですか。不要なデータは消去してください。

4:　静止画がきれいに撮れない。

4:　メモリ画質を[ノーマル]や[エコノミー]にして、細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。[ファイン]にして記録してください。

5:　画像や音声がおかしい。

5:　データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータはパソコンなどにも記録してください。

6:　カード再生中に[×]マークが表示される。

6:　形式の異なるデータや壊れたデータを再生しています。このようなデータは再生できません。

7:　カードをフォーマットしても使えるようにならない。

7:　本機、またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

8:　テレビと接続しても、画像が出ない。

8:　本機でテレビの映像を記録することはできますが、テレビに本機の映像を出力することはできません。

9:　再生・記録ができず、画面が動かなくなった。

9:　電源ボタンを電源が切れるまで押し続けてください。(約5秒間)それでも電源が切れないときは、バッテリー(ACアダプター)を抜いてください。そのあと、再度電源を入れてみてください。
それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店へご相談ください。

10:　静止画の再生時に、イヤホンを接続しても、音声が聞こえない。

10:　静止画モード(静止画の記録時・再生時)は音声は聞こえません。

11: 音声（VOICE）ファイルや音楽ファイルを聞いていたら、急に画面が消えた。

11: 本機で音声ファイルの記録・再生、音楽ファイルの再生を行うと、約５秒後に液晶モニターが消灯します。ボリュームボタン［MODE/VOL］などを押すと点灯しますが、なにも操作しなければ、約５秒後に再び消灯します。液晶モニターは、再生終了後（または一時停止中）に点灯します。

12: 記録したMPEG4動画映像を電子メールで送りたい。

12: 本機で記録した映像をパソコンなどに取り込んで、電子メールに添付すると送れます。（別売のSDマルチビューワソフト/VW-DTV10の「SD-MovieStage」を使うと便利です）その場合、ファイルサイズの容量を1MB程度にすることをおすすめします。1MBのMPEG4動画ファイルの記録時間は、ファイン：約15秒、ノーマル：約20秒、エコノミー1：約45秒、エコノミー2：約60秒です。（電子メールで送れるファイル容量の上限はお使いの環境によって異なります）また、Macintoshで再生する場合は、Windows Media Player for Macintoshをお使いください。（Mac OS 8.0以上）Windows Media Player for MacintoshはMicrosoft社のホームページからダウンロードできます。

13: 画面に赤や青、緑、白の点が現れた。

13-1:液晶モニターの画面上には0.01%以下の割合で、画素欠けや常時点灯するものがあります。（P50）

13-2:長時間連続で使用したり、周囲の温度が高いところで使用した場合に、本機内部の温度が上がり、画面に白や青、赤、緑の点が現れて静止画撮影時に記録されることがあります。これはC-MOSセンサーの特質によるものであり、故障ではありません。このときは本機の電源を切り、しばらく放置してください。

C-MOSセンサーは、小型で低消費電力という特性から、CCDに続く次世代撮像素子と言われています。

仕様

SD マルチカメラ

電源	AC アダプター使用時:4.8 V　バッテリー使用時:3.7 V
消費電力	AC アダプター使用時:3.1 W バッテリー使用時　:2.8 W

撮像素子	1/4 型 C-MOS 撮像素子　RGB 原色フィルター内蔵
画素数	総画素数:約 35 万画素(有効画素数:約 33 万画素)
走査方式	525 本　30 フレーム
標準被写体照度	1400 ルクス
最低照度	120 ルクス
焦点距離	4.16 mm
ズーム比	1 倍
F 値	3.6
最短撮像距離	レンズ前面より約 50 cm
モニター	5 cm (2 型) 液晶モニター (約 11 万画素)
ビデオフラッシュ	GN 3
記録メディア	SD メモリーカード、マルチメディアカード
動画録再	ファイン:　360 × 240 ドット (映像約 360 kbps+ 音声約 32 kbps) ノーマル:　176 × 144 ドット (映像約 220 kbps+ 音声約 32 kbps) エコノミー1:176 × 144 ドット (映像約 100 kbps+ 音声約 32 kbps) エコノミー2:176 × 144 ドット (映像約 64 kbps+ 音声約 32 kbps)
画像圧縮形式	JPEG 準拠
映像圧縮形式	MPEG4 準拠
音声圧縮方式	G.726 準拠
音楽伸張方式	MPEG2-AAC (サンプリング周波数　32k、44.1k、48k 対応)

映像入力	NTSC 方式　525 本　60 フィールド（外部入力時） 1.0 Vp-p　75 Ω
音声入力	マイク：モノラルマイクロホン ライン：入力レベル 316 mV　入力インピーダンス 10 kΩ 以上
音声出力	ヘッドホン 出力レベル 40 mV　出力インピーダンス 100 Ω/ 負荷インピーダンス 16 Ω
外形寸法	約 幅 28 ×高さ 50 ×奥行 87 mm
本体質量	約 98 g （バッテリーパック、SD メモリーカード含まず）
使用時質量	約 125 g
推奨使用温度	0 ～ 40 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80 %
バッテリー持続時間	連続使用：約 60 分　間欠使用：約 30 分 （付属のバッテリーパック使用時）

AC アダプター

電源	AC100 － 240 V　50/60 Hz
入力容量	12 VA（100 V 時）/17 VA（240 V 時）
出力	DC 4.8 V　1.0 A

質量	約 75 g
外形寸法	約幅 40 ×高さ 26 ×奥行 75 mm

バッテリーパック

最大電圧	4.2 V
公称電圧	3.7 V
定格容量	900 mAh

質量	約 27 g
外形寸法	約幅 36 ×高さ 7 ×奥行 53 mm

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外してから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、SDマルチカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）

FAX　フリーダイヤル 0120-878-236

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区		
札幌　札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 旭川　旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	帯広　帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	函館　函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

保証とアフターサービス(よくお読みください)

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

青森 青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712	岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	山形 山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756		

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
		三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636	奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770	兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

Panasonic SDマルチカメラ SV-AV10 取扱説明書

愛情点検　長年ご使用のSDマルチカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	SV-AV10
販売店名	☎（　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ
〒571ー8505　大阪府門真市松生町1番4号
システム事業グループ
〒571ー8503　大阪府門真市松葉町2番15号

F0102Mk0（5200Ⓐ）